

氏名	會田 みゆき	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	成人看護学				
学位	修士（保健学）				
学歴	1986年弘前大学教育学部特別教科看護教員養成課程、 2014年女子栄養大学栄養学研究科保健学専攻修士課程				
経歴	1986年虎の門病院看護師、1989年埼玉県立衛生短期大学看護学科助手、1997年埼玉県立衛生短期大学看護学科講師、1999年埼玉県立短期大学看護学科講師、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科准教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本看護学教育学会、日本看護研究学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本糖尿病学会、日本エンドオブライフケア学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	臨床推論力向上をめざしたシミュレーション教育の評価（第1報）－シミュレーション前後の臨床推論の変化－	共同	日本看護学教育学会第35回学術集会、北見市（ハイブリット開催）	○會田みゆき、常盤文枝、山岸直子、金さやか、東口晴菜	2025.8	
2	臨床推論力向上をめざしたシミュレーション教育の評価（第2報）－シミュレーション実施が臨床判断能力へ与える効果－	共同	日本看護学教育学会第35回学術集会、北見市（ハイブリット開催）	○常盤文枝、會田みゆき、山岸直子、金さやか、東口晴菜	2025.8	
3	看護学生の状況報告におけるSituation Awarenessの特徴	共同	第45回日本看護科学学会学術集会	○金さやか、會田みゆき、常盤文枝、山岸直子、東口晴菜	2025.12	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	認知的徒弟制を活用した臨床判断能力育成のための教育プログラムの開発	研究代表者	2025.4～2026.3		
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	「もしも」の時の医療・ケアの話し合い行動意図尺度を用いた家族参加型ACP研修の開発	研究分担者	2025.4～2026.3		

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床実践看護	○	5	科目責任者として、講義・演習の企画、運営を行った。グループワーク、シミュレーション演習を取り入れ、臨床場面を意識しながら取り組めるよう工夫した。
2	リハビリテーション看護		1	中途障害のある患者へのアプローチ（呼吸機能障害）を担当した。生活の場での視点がもてるよう工夫した。
3	成人看護学Ⅴ		5	「栄養・代謝機能障害（糖尿病）をもつ人の看護」3コマをTBLで実施した。「災害時における慢性病を持つ人々への看護」2コマを担当した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床実践看護	○	10	輸液の技術演習、「術後観察と初期評価」および「突発事象（予期せぬ課題）への対応」のシミュレーション演習を担当した。
2	成人看護学Ⅱ		4	ヘルスアセスメント演習「身体活動の診察」を担当した。
3	成人看護学Ⅴ		13	「糖尿病をもつ心不全患者事例の看護過程演習（3グループ）」6コマ、「慢性病をもつ人への看護技術」3コマ、シミュレーション演習2コマ、「入退院支援・在宅移行支援が必要な慢性病をもつ人の看護」のグループワーク2コマを担当した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学実習Ⅰ		2025.5～2025.6	3年次生を対象に学内実習指導を担当した。臨地を想定しながら、個人ワークおよびグループワークが活性化するよう進めた。
2	成人看護学実習Ⅱ		2025.5～2025.6	3年次生を対象に4週間2グループの臨地実習指導を行った。受け持った患者の看護過程が展開できるよう個別指導を実施した。患者の安全確保と実習環境整備のため、施設側との調整を頻回に実施した。
3	IPW実習		2025.9.29～ 2025.10.2	学生6名を担当した。学生が主体的に参加できるよう、またチーム形成のサポートを行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2026.1	主指導 4名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	高校出張講座	草加東高等学校	看護学を志す高校生のための看護学入門	2025.11.20
2	高校出張講座	志木高等学校	看護学を志す高校生のための看護学入門	2026.3.17
3	埼玉県立大学オープンカレッジ講座	北本市高齢介護課との共催	さいごまで自分らしく生きるための心づもり ～「もしも」の時に備えて～	2025.11.9
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	春日部市防災会議	委員	2014.7～現在	

(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント相談員		2025.4～2026.3
2	学科等における委員会等	学年担任 (2年)		2025.4～2026.3
3	大学広報活動	オープンキャンパス 教員相談		2025.8
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	春日部市市制施行20周年記念特別表彰受賞	春日部市	2025.11	
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			